

## 最優秀賞

住宅の部

建築主：伊藤 博訓

設計：株式会社西本組 西本建築事務所

施工：保川建設株式会社

所在地：千葉市緑区高田町

～古民家の再生に込められた、希有な思いと技能の統合～

# 高田 伊藤邸



南側全景

(撮影/Atsushi ISHIDA)

千葉市の南西にある緑区には、広大な敷地にかつての豪農が建てた古民家の集落が残っている。その緑豊かな風景は、都市開発が急速に進んできた同区にあって、心穏やかな異空間である。その中でも、この築145年の古民家で生まれ育った施主が抱えてきた住まいへの思いが募り、伝統木造建築の再生知識と技能に長けた建築家を奈良から呼び寄せた。そして、近隣の工務店や職人等、地域の人材が組織化され、新たな建築技術とともに、さらなる持続可能な住まいを目指した再生が実現した。

具体的には、綿密な事前調査に基づき、敷地内の配置を含めた基本的な再生戦略を立て、事例の見学等を通して最適解が吟味された。その際採用された曳家とベタ基礎化によって耐震性能の高いレジリエントな古民家を実現し、同時に長屋門や数棟の既存家屋等で囲まれた中庭が生まれた。

屋根は急勾配の茅葺きを覆った金属瓦から、勾配を緩めた陶器瓦に葺き替え、将来のメンテナンスに備えた。そして、傷んだ柱・梁の取り替え、根接ぎはもとより、梁・小屋組の架け替えが行われた。その一部は玄関ホー

ル上で豪快に吹き抜け、大変印象的な内部空間の見せ場となっている。また、現代住宅としての機能と快適性を満たし、随所に仕込まれた繊細な木製建具や部材とともに、極めて質の高い暮らしの空間として仕上げられた。

近年、古民家の再生事例が毎年応募されるようになり、千葉県建築文化の多様なジャンルの1つを構成するようになった。その中において、周辺環境を含めた本件の王道を行く成果に、審査員全員から高い評価を得た。

(岩村 和夫)



玄関



ホール

(撮影/Atsushi ISHIDA)